

芸術の秋を、豊かな想いに・・・

### UN Women 東京 第18回 チャリティコンサート

1週間後に迫る!

#### ひとり歌芝居

ソプラノ歌手・川本伸子が日本屈指の  
ピアニスト花岡千春の伴奏で贈る

渾身の演技と歌声!

日時:11月29日(火)

開演:午後6:30~

会場:深川江戸資料館ホール

(都営地下鉄大江戸線「清澄白河」下車)

全席自由席:4,000円



芥川龍之介の「蜘蛛の糸」の舞台



### 2012年度 UN Women 東京総会

日時 2月15日(水)  
午後1:00~4:00

会場 津田塾大学同窓会会議室 (JR・千駄ヶ谷駅前)

第1部: 総会

第2部: 講演

テーマ: 「険しい山を登り始めた女性たち」(仮題)

~ UN Women の新たな展開 ~

講師: 有馬 真喜子 氏

(UN Women 日本国内委員会理事)



#### UN Women 東京 事務所移転のご通知!!

このたび、11月2日より新宿駅南口の事務所より、江東区深川の下記の事務所に移転しました。会員の皆さま、お近くにいらした折は、お立ち寄りください。

#### 新事務所

〒135-0033 江東区深川2-6-10 上原ビル1F

(都営地下鉄大江戸線、東西線「門前仲町」下車2分)

TEL/FAX 03-5809-8587

ホームページのアドレスは、以前と変わりません。

新事務所での十一月度役員会



#### 会計よりお願い!

今年度の会費未納の方は、近日中にお振込みいただきますよう宜しくお願いいたします。当団体の事業年度は、1月~12月までです。また、来年度も宜しくお願い申し上げます。

初夏の UN Women 東京 第19回コンサートのお知らせ

#### ~ タンゴ 情熱の調べ ~

佐藤美由紀のピアノ、バンドネオン、ギターで贈る

Miyuki Tango Torio をお楽しみに!

\*ご入会 ご寄付をいただき

ありがとうございます。



新規会員: 細川照子 加藤清美 室賀サダ子 小林和子 北野智子

志野久美子 大森富士子 榊蔵のり子 小山八重子

金子裕子 天野美津子 松本万里 老沼秀子 新川尚子

寄付者: 加藤智子 小西厚子 天野美津子 山脇裕子

活動寄付者: 松比良節子 上原淳子 鷲見八重子 太田恵子

飯尾美甫 山野俊治 加藤聖子 室賀サダ子

志野久美子 高橋千夏

2011年10月25日まで(敬称略)

#### ★編集後記

震災で多くの犠牲者を出し、復興の道のりが厳しい中、150カ国以上の国々から心温まる救いの手が差し伸べられた。これは日本がODAのような形で他国、特に発展途上国に援助をしてきたことに対するお返しという面が大きいと言われる。その支援は政府レベルだけでなく、人々の気持ちの流れの中にあり、21世紀の新しい連帯感が生まれるかもしれないという。UN Women の新しい使命を感じるの、私一人ではないと思う。(T)

#### UN Women 日本国内委員会東京地域委員会

UN Women 東京 News Letter Vol.3

発行人: 東京地域委員会会長 阿部 幸子

発行日: 2011年11月20日

〒135-0033 東京都江東区深川2-6-10  
上原ビル 1F

Tel/Fax 03-5809-8587

郵便振替: 00190-6-5508800

http://unwomentokyo.org



# UN Women 東京 News Letter Vol.3

UN Women (国連女性機関) 日本国内委員会東京地域委員会

2011.11.20

#### UN Women はどの方向に? 執行理事会・年次総会の報告会 が開かれる 8月9日 18:00~ 於・東京ウイメンズプラザ

昨年11月、日本も UN Women の執行理事国に推薦されたが、その執行理事会が初めて6月末にニューヨークで開催され、日本からも西田恒夫国連大使等が出席した。その模様が外務省人権人道課の高林宏樹氏等により報告された。

冒頭、国内委員会の有馬理事長から外務大臣よりジェンダー平等による国際協力の功績を讃えて日本国内委員会が表彰されたことの報告があった。



高林氏は、「この度の改革で国連システムのより効果的な調整が諮られた」と言われ、1月の活動開始から6月末の執行理事会・年次総会までの流れに沿って説明した。

1月はバチエレ事務局長の「ビジョンと100日行動計画」の発表、2011年度の予算案の承認、3月は財政規則を採択、3月末から5月は戦略計画に関する非公式協議を行った。

執行理事会・年次総会では、バチエレ事務局長のステートメントに続き、各国のステートメントがあり、2011~2013年の戦略計画の承認、現段階の資金をどのように使っているかの行財政の現状報告があった。

就任後15カ国以上を訪問したバチエレ事務局長は、その際の協議等を踏まえ、6つの優先分野と目標(右に明記)を設定した。また「100日行動計画」に基づき、他の国連機関との調整戦略を準備し、市民社会や民間セクターとの協力も重視するとした。他の機関との調整とは、ユニセフ・ILO等との連携を取ることである。市民社会との協力とは、社会の種々のグループと協議する。また、民間セクターとの協力とは、民



#### 《2011~2013年 戦略計画》

#### 6つの優先分野と目標

- ① 女性の参画の拡大
- ② 女性の経済的エンパワーメント
- ③ 女性に対する暴力の撤廃
- ④ 平和・安全・人道対応における女性のリーダーシップ
- ⑤ 政策・予算におけるジェンダーへの配慮
- ⑥ グローバルな規範・政策・基準の構築

間セクターとパートナーシップを強化することだ。

これらの計画の伸展のためより効率的、効果的なシステムの調整を諮り、あくまでも結果を重視していく。そのため現地レベルの支援体制の強化を行う。今までのユニフェムの拠点をベースに途上国75カ国で事務所体制を整備していくこととなった。UN Women の構成要素をみると、8~9割が元ユニフェムが占めるという。

以上の主な報告を受けて、日本国内委員会の主要メンバーから今後の活動に関し、多くの質問が出された。

質疑を聞いて出席者の国連大学学長特別顧問の横田洋三氏は「ユニフェムを吸収しながら UN Women は発展していくことになるが、どういう仕組みで、何をするのか。先進国は女性のエンパワー、資金活用等ノウハウはあるが、途上国はそれがない。日本女性の抱えている問題もあり、日本政府は UN Women のプロセスの中で、より行動的な方向に進めてもらいたい」と述べた。

「いくつもの壁にぶつかりながら」

…カンボジアの子どもの笑顔のために

村田 早耶香氏  
(NPO法人「かものはしプロジェクト」共同代表)

人生の転機とカンボジア

2002年、大学の国際交流学部の2年生だった村田さんは授業で東南アジアの子どもが売られる問題を知った。その衝撃は大きく見過ごすことができなかった。初めてアルバイトをしたお金をため、東南アジアに向かった。

カンボジアは20年近い内戦で、特に4年近くポル・ポト政権下での知識階級の大量虐殺で復興への時間がかかり、貧しさから抜け出せていない。1日1ドル以下の生活をしている人は国民の18.7%だった。当時売春宿で働かされている18歳未満の子どもは1.5万人ともいわれ、2000年以降急激に増えおり、その中でも10歳未満が多く、世界で一番ひどい国といわれた。子どもの心身をともにひどく傷つけるこの問題は、最悪の形態の児童労働といわれている。エイズや他の性感染症になり、亡くなる子も多いた。

訪れた施設を去るとき、仲良くなった6歳の女の子は「初めて大人のひととこんなに遊んだ。帰らないで!」と言い、オレンジ色のスカーフを差し出した。そのときのことが村田さんの心をつかまえた。子どもが売られる金額は100ドル(当時1万円)、アルバイトをしたら何人もの人を助けられる。私でも出来ることがあると決意し、帰国した。

帰国したちょうどその年の12月、横浜で「第二回児童の商業的性的搾取に反対する世界会議」が開催されることを知り



シングルマザーの貧しい家の親子と

参加した。若者の代表として200人の声を集め、宣言文をつくり発表した。それが国連の正式な文章として登録された。しかし会議が終わっても変化は起きなかった。法律が変わるとか予算がつくと

ところまで見届け、訴え続けなければ世の中は変わらない。そこで活動団体に入り、子どもが売られる問題をなくす取り組みをしようとしたが半年かけてもできず、自分で団体をつくらうと考えていた。

そんな時、人生を変える出会いがあった。現在活動を共にしている本木と青木との出会いです。彼らは当時東京大学に通いビジネスの勉強をしていた。彼らから社会問題を、ビジネスを通して解決するという方法を知り、2002年7月、3人で「かものはしプロジェクト」を立ち上げた。

卒業後カンボジアのプノンペン市内に事務所を設けた。大学の就職課の掲示板に広告を張り、現地の人を雇った。賄賂社会であるため、現地での活動は難しく時間がかかったが、賄賂を払わず、工房も立ち上げることができた。

農村から都会に売られ、若くして死んだミーチャの写真的前で講演する村田早耶香さん



活動内容

① カンボジアの警察訓練支援を行っている。現場の警察官に法律のトレーニングを行っており、検挙数は、2001年に比べ9倍に増えた。

② カンボジアで最も貧しい地区に工房を建て、経営している。工房では地域の12万人の中で最貧困の女性たち100人を雇用して、農村にある井草やヤシの葉を使って雑貨を作り、アンコールワットを見に来る観光客向け販売している。現在商品はシェムリアップの43箇所に取り扱っており、ナイトマーケットも直営店を出し、今年は井草の商品で800万円の売り上げが見込まれる。彼女たちは1ヶ月3,000円の収入で家族5人を養うことができる。また収入を得るだけでなく、生きていくための力をつけている。昼休みに識字教育を開き、読み書きが出来るようになっている。また、将来のための貯金指導や、健康維持の栄養指導もしている。



工房で足踏みミシンを動かす

③ 孤児院の支援を行っている。人身売買から救われ孤児院に入っても、物乞いや物売りで孤児院に保護されても放っておくと再び売られるからだ。売られる子も多いが、状況は少しずつよくなり、数は減っている。

これから…

カンボジアの子ども被害者数は警察の能力強化や貧困層の生活レベルの底上げによって減少傾向にある。しかし、それに対して問題はより地下化し、カラオケ店やマッサージ店などに偽装し子どもが被害に遭うというように問題も変化している。かものはしプロジェクトは引き続き、カンボジアでの活動を行うとともに、世界からだまされて売られる子どもがいなくなるように活動していく予定だ。「子どもが売られない世界をつくるため、これからも多くの方にご支援、ご協力をお願いしたい」と村田さんは結んだ。

青学女子短大で「Wen-Do」講習会

UN Women 日本国内委員会・女性に対する暴力に「ノー」と言おうキャンペーン

エイボン：「女性のエンパワーメント基金」の助成金事業

10月22日(土)午前10:00から青山学院女子短期大学の体育館ブレイルームで、女性のための護身術「Wen-Do」の講習会が行われ、短大の学生課に応募した学生10数名が参加した。

講師はWen-Doプロジェクト(本部はカナダ)のインストラクター大沼もと子氏。暴力は暴言やセクハラや嫌なことを強要するなど広範囲に及ぶ。女性として暴力からわが身を守ることは大事なことだが、その護身術は意外に知られていない。

大沼さんは初めに、将来いろいろなことに遭遇しても自らを大事にする自尊感情をもって欲しいと訴え、簡単な準備体操をした後、最初にパニックを防ぐ呼吸の方法、声の出し方(大声)を伝授。

次に相手に腕を掴まれた場合にどう抜くか。さらに脚の蹴り方の実地訓練。安全を確保するための攻撃の仕方、相手の攻撃ポイント(急所)の紹介。



後ろから羽交い絞めにされたら…

未然に防ぐには、自身でわが身の危険を感じたときその直感を大切に直ちに逃げるのが肝要。それでも襲われ、後ろから羽交い絞めにされたり、首を絞められたときには相手の手の外し方がある。Wen-Doは力を入れず暴漢から逃げる方法を教える。エレベーターの中で襲われたとき、電車の中で痴漢に遭ったとき等々、細かく教授。女子学生の皆さん一緒に練習して備えたいと真剣に学んでいた。

《会員便り》

みたび  
ヨルダンへ…

江東区在住  
上原淳子さん



教室での上原さん

中東ヨルダンの首都アンマンとエルサレムを結ぶ古い街道半ばにある海拔1,100メートルほどの高原の町サルトにある「聖地ろうあ子供の里」でボランティア活動に再度参加しました。ここは世界中から支援を受けて運営する障害児の学校で、幼児から高校生まで150人の生徒が、寮制で学んでいます。全員耳が不自由で、中には三重苦(目も不自由)の生徒もあり、アメリカ人のトレーナーのもとで特訓を受けています。

この学校には世界でも大変評価が高いといわれる補聴器の研究室があり、耳の不自由な人が多いといわれるヨルダンだからこその研究成果なのかもしれません。欧米からの長期ボランティアの青年が多く、大変な力を発揮しています。

里親制度への参加、ボランティアなど日本からの支援も期待されています。

壮絶なあの日・あの時

私は仙台市の北東、太白区に住んでいま  
仙台市在住  
板橋美津子さん

す。あの日、台所で右に大きく揺れを感じ、地震だと思った瞬間、天井の照明器具が振り子となり、サイドボードの置物が落下し、扉が開き食器類が床に散乱しました。戸口を開けたら、「キヤァ怖い!」と口々に叫び、人々が路上に集まっていました。チラホラ雪が舞い、停電と断水が始まり、恐怖の余震の中でラジオを聞きながら洋服のままの一夜でした。二日目、近くの小学校に給水車が来ると、夫とふたりで4時間並び、バケツ2個を持ち帰りました。

その後10日間毎日2時間並び、ポリ容器2個を運びました。今その後遺症で首を痛めています。5日間の停電と1ヵ月のガスの停止。ライフラインの切断に、当たり前の昨日までの生活に感謝を覚えました。スーパーも2時間並び、ひとり10分の買い物、ガソリンスタンドは3時間並び、1台20%の制限。

震災から8ヵ月、私の多くの友人も大切な家族を亡くしました。一瞬で全てを失う自然災害の恐怖に今も思い出すと戦慄が走ります。